【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公開番号】特開2014-48430(P2014-48430A)
【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)
【年通号数】公開・登録公報2014-014
【出願番号】特願2012-190713(P2012-190713)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　1/11　(2015.01)
Ｇ０２Ｂ　1/10　(2015.01)
Ｂ３２Ｂ　7/02　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　1/10　Ａ
Ｇ０２Ｂ　1/10
Ｂ３２Ｂ　7/02　１０３
Ｂ３２Ｂ　27/16

【手続補正書】
【提出日】平成27年7月6日(2015.7.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
透明基材フィルム上に、（Ａ）活性エネルギー線硬化被膜層と、（Ｂ）熱硬化被膜層とが積層されている光学積層フィルムであって、
前記光学積層フィルムを、前記（Ｂ）熱硬化被膜層側が上側になるように水平面に対して４５度の傾斜角度で配置し、当該サンプルから１ｍの高さより、中心粒径６００～８５０μｍのカーボンランダム＃２４を８００ｃｍ^{3}落下させた際に、落下前後の全光線透過率差（ΔＴ％）が４％未満であることを特徴とする光学積層フィルム。
【請求項２】
透明基材フィルム上に、（Ａ）活性エネルギー線硬化被膜層と、（Ｂ）熱硬化被膜層とが積層されている光学積層フィルムであって、
前記（Ａ）活性エネルギー線硬化被膜層は、活性エネルギー線硬化型樹脂及び光重合開始剤を含む膜Ａであり、
前記（Ｂ）熱硬化被膜層は、アルコキシシラン及びその加水分解物を原料とする縮合物である酸化ケイ素を含む膜Ｂであり、
更に、上記の膜Ａ及び／又は膜Ｂ形成用組成物は、下記の要件（ａ１）（ａ２）（ｂ１）より選択される２つ以上を満たすことを特徴とする光学積層フィルム。
要件（ａ１）：膜Ａ中に、光硬化性反応基を分子内に有するアルコキシシラン及びその加水分解物を含有する
要件（ａ２）：膜Ａ中に、水酸基、エポキシ基、イソシアネート基より選択される１以上の反応基を分子内に有する活性エネルギー線硬化型樹脂を含有する
要件（ｂ１）：膜Ｂ中に、光硬化性反応基を分子内に有するアルコキシシラン及びその加水分解物を含有する
【請求項３】

前記要件（ａ１）において、膜中における前記光硬化性反応基を分子内に有するアルコキシシラン及びその加水分解物の割合が０．０１質量％以上３０質量％以下である請求項２に記載の光学積層フィルム。

【請求項４】

前記要件（ａ２）において、全活性エネルギー線硬化型樹脂中における水酸基、エポキシ基、イソシアネート基より選択される１以上の反応基を分子内に有する活性エネルギー線硬化型樹脂の割合が１０質量％以上１００質量％以下である請求項２又は３のいずれかに記載の光学積層フィルム。

【請求項５】

前記膜Ｂを構成する前記アルコキシシラン及びその加水分解物が４官能のアルコキシシラン及びその加水分解物である請求項２から４のいずれかに記載の光学積層フィルム。